中部様式1

令和元年度　地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

春日井市地域公共交通会議

平成１９年１１月６日　春日井市地域公共交通会議　設置

調査事業（計画策定）令和３年３月春日井市地域公共交通網形成計画策定予定

都市や公共交通等の現況

【コミュニティバス】
かすがいシティバス　324,152人/年　増加傾向

【人口】
311,326人　減少見込み

【高齢化率】
24.5%　増加見込み

【鉄道】

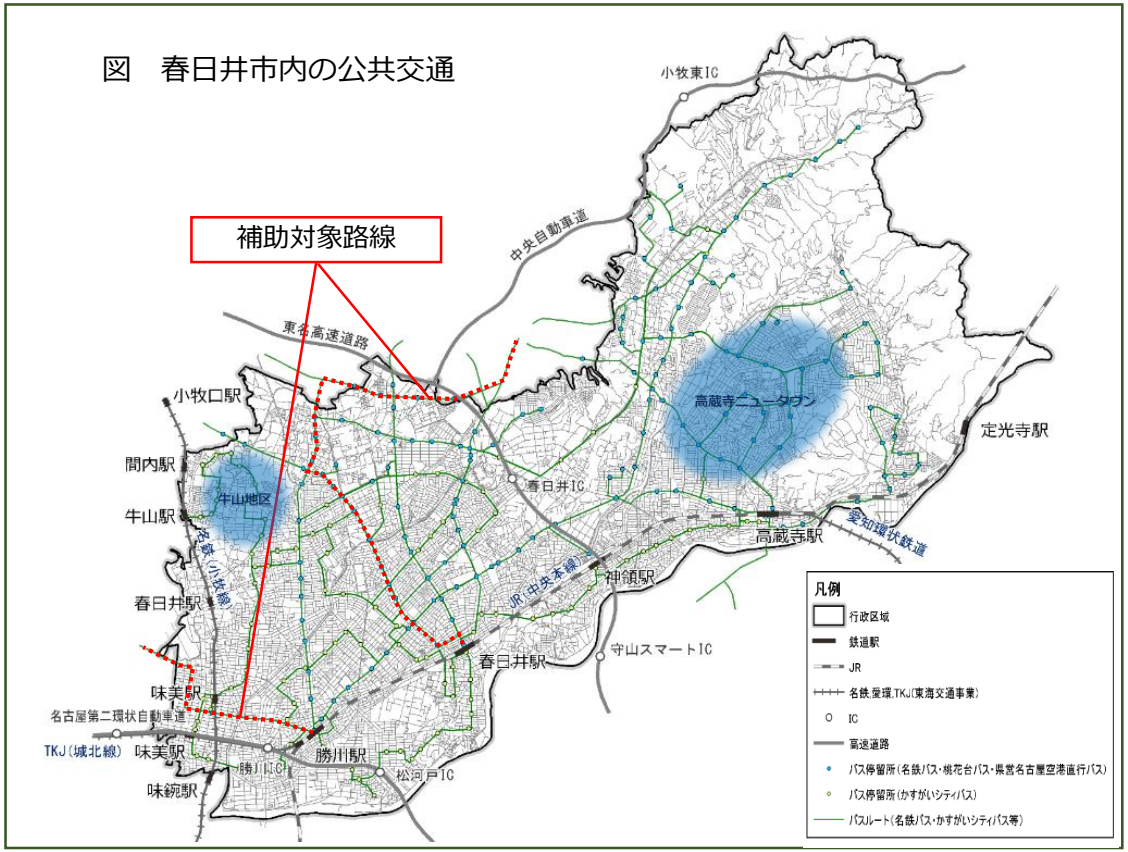
JR中央本線	135,670人/日	増加傾向
名鉄小牧線	13,175人/日	増加傾向
愛知環状鉄道	11,105人/日	増加傾向
城北線	738人/日	増加傾向

【路線バス】
名鉄バス　5,193,847人/年　横ばい
あおい交通や名古屋市営バスも一部鉄道駅に発着

【タクシー】
5事業者　1,136千人/年　減少傾向

【その他移動手段】
自動運転の実証実験（高蔵寺ニュータウン）
民間等自主運行（サンマルシェ循環バス、病院巡回バス、自動車学校・JAの送迎バス、大学バス等）

図　春日井市内の公共交通



住み慣れた地域での生活を支える公共交通の利便性の向上と利用促進を図るほか、地域の実情に合わせた移動手段の確保や日常生活に必要な機能の集約を推進し、自動車に過度に依存しなくても快適に暮らせる都市構造の構築を目指し、多様な交通手段が効果的に連携した、持続可能な交通サービスを実現するため、「春日井市地域公共交通網形成計画」を策定することとした。

春日井市内における公共交通に関する取組

かすがいシティバスの運行

昼間帯の高齢者の移動手段として運行を開始

【かすがいシティバスのこれまでの経緯】

S53.10月　公共施設の利便向上のため、市内環状線として東西2路線で運行開始した

↓

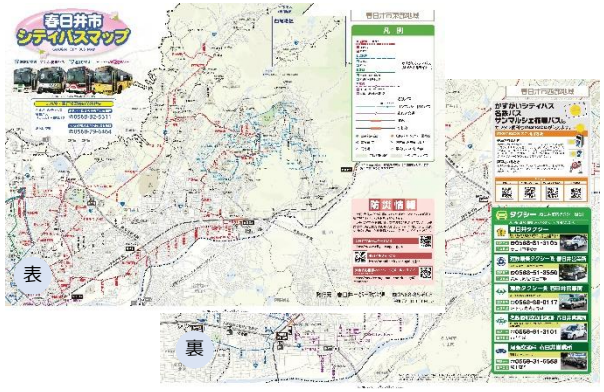
H14.11月　かすがいシティバスとして運行
H21.10月　かすがいシティバスの再編
H24.10月　バスロケーションシステムの導入
H26.10月　利用促進策の実施
H30.10月　現在の路線・ダイヤでの運行

バスロケーションシステム

運行状況の確認が可能

バスマップ

路線バス事業者やタクシー事業者と連携し、バスマップを作成



各種割引

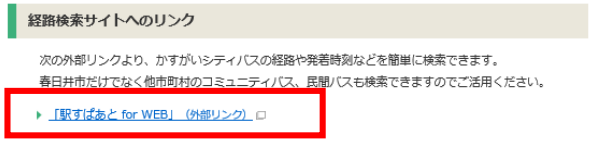
得々パス（名鉄バス）やかすがいシティバスでの割引

かすがいシティバス各種カード

経路検索サイトとの連携

経路検索サイトとの連携による利便性の向上

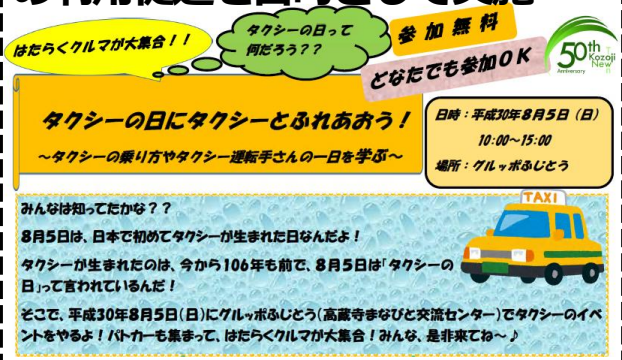
春日井市ホームページ



春日井市ホームページに経路検索サイトのリンクを掲載

タクシーの日

乗車体験や車両展示などタクシーの利用促進を目的として実施



各種公共交通の利用特性を詳細に把握するため、市民・利用者・主要集客施設・交通事業者・近隣市町の協力のもと、多種多様な調査を実施した。

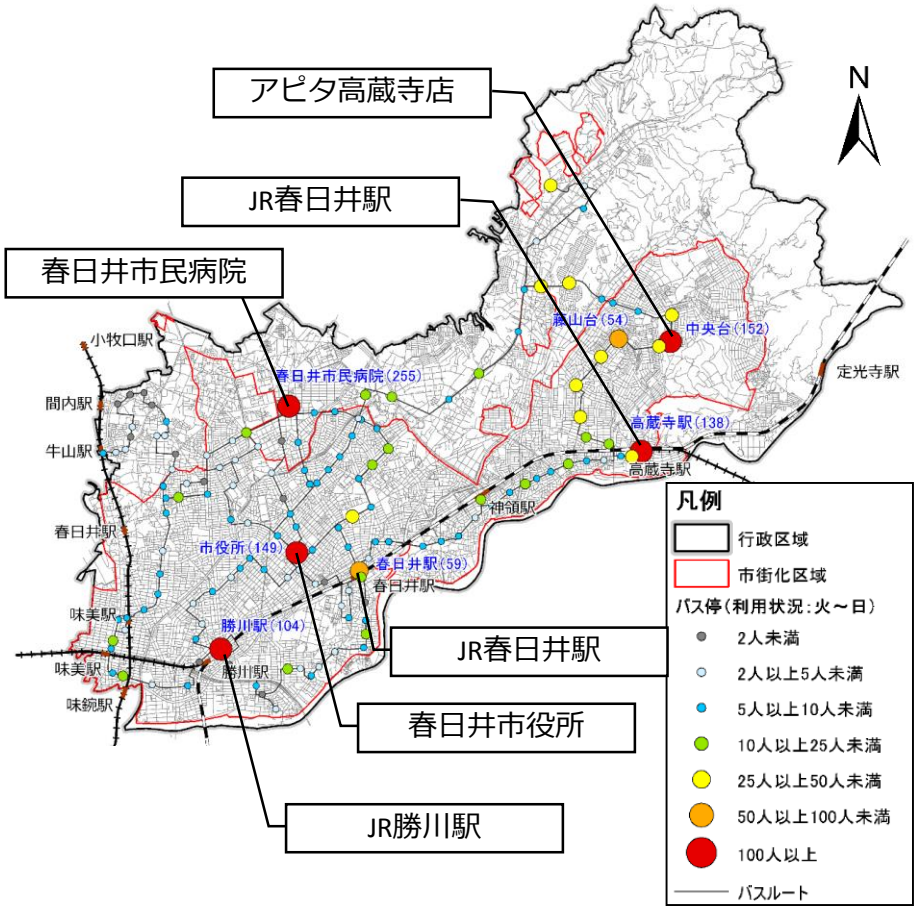
表　各種ニーズ調査の実施概要

調査の種別	調査の目的
シティバスの乗降調査	• 春日井市内を運行するシティバスの路線別、便別、バス停別の利用者属性や、利用状況を把握
アンケート調査	• 市内公共交通の利用実態やニーズを把握 • 利用するようになった時期やきっかけを把握 • バスに対する満足度を把握 • 乗継に対する市民意向の把握 • 最寄りバス停への移動手段の把握
地域懇談会	• 都市計画マスタープランの策定にあたり15中学校区を対象に実施、**まちづくりの重要な要素の一つである公共交通についての意見を把握** • 公共交通の整備状況や土地利用から類似する中学校区をグルーピングし、各地域の意見を把握
事業者ヒアリング	• 既存の統計調査からは分からない具体的な利用特性の把握 • 交通サービスを維持する上での供給者側からの問題点を把握 • 利用促進の取組の把握
近隣市町ヒアリング	• 隣接市町間の移動ニーズ等の把握

乗降調査結果（かすがいシティバス）

◆ 市民病院や市役所、鉄道駅、高蔵寺ニュータウンの店舗などでの利用が多い

図　１日平均のバス停別乗降客数



地域懇談会

◆ **路線バスの利便性は確保されている**

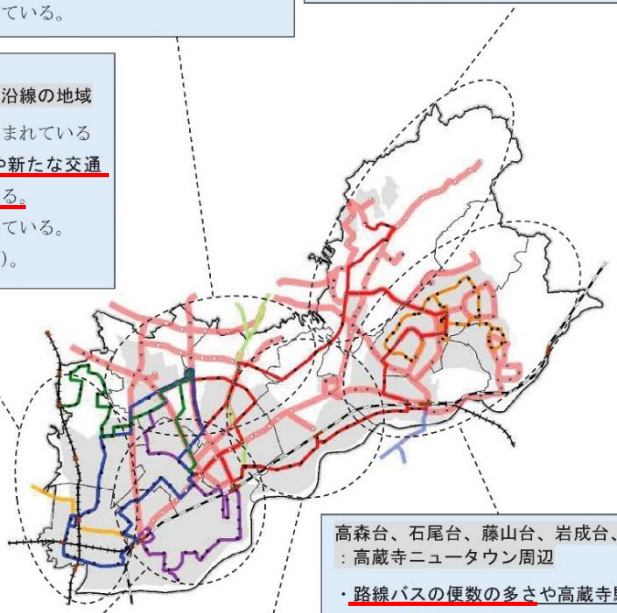
◆ 鉄道駅への利便性の確保が必要

◆ **新たな交通の検討**も望まれている

松原、鷹来：市街地と農地が広がる地域
- 交通に不便を感じている。
- 一部地域ではＪＲへの接続などの公共交通の改善が求められている。
- 利用促進が求められている。

坂下：市北東部の豊かな自然が広がる地域
- 路線バスの利便性は確保されているが、高蔵寺駅や市民病院へのシティバスの改善が求められている。

西部、知多、味美：名鉄小牧線、城北線沿線の地域
- 駅施設の整備等が望まれている
- シティバスの改善や新たな交通の検討が望まれている。
- 利用促進が求められている。（特に西部中学校区）。



高森台、石尾台、藤山台、岩成台、高蔵寺：高蔵寺ニュータウン周辺
- 路線バスの便数の多さや高蔵寺駅に近い等の強みがあるが、坂道が多い地形に起因するバスへのアクセスが不便である。
- 高齢化に対応するための交通サービスの検討が望まれている

東部、中部、柏原：ＪＲ春日井駅や勝川駅に近く、市街化区域が面的に広がる地域
- シティバスの改善や新たな交通の検討が望まれている。

南城：神領駅周辺地域
- 神領駅や市民病院へのシティバスの充実が望まれている。

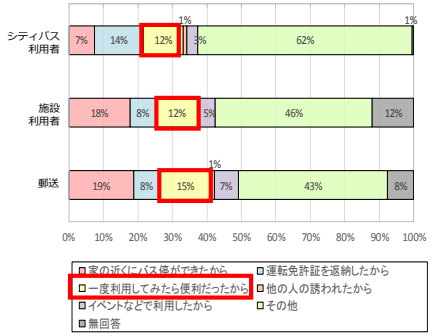
アンケート調査結果

◆ 利用するようになったきっかけとして、**一度利用してみたら便利だった**と回答した人が多い

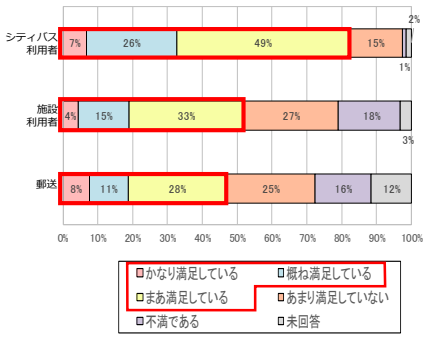
◆ シティバス利用者の満足度が、郵送調査や施設利用者調査より高い

利用促進に向けて利用機会を確保し、公共交通を利用する意識を高めていく必要がある

利用するようになったきっかけ



調査別満足度



事業者ヒアリング結果

◆ **乗務員が不足**している

◆ 利便性の向上には、費用の確保が必要

サービス提供上の課題

【バス事業者】
- 乗務員の確保が必要である
- 乗務員の不足により、減便の可能性がある

【タクシー事業者】
- 乗務員の確保が必要である
- 各種ICカードとの連携は導入費用がかかり、機械の操作が困難である

利用促進の取組み

【バス事業者】
- 高齢者向けの得々パスを販売
- 小学校を対象とした交通安全教室
- ICカード等の使い方説明会、バスの乗車会・撮影会等

【タクシー事業者】
- 各種ICカードとの連携
- バリアフリー対応（ＵＤタクシーの導入やケアマネージャーの同乗等）

近隣市町ヒアリング結果

◆ 現状、周辺市町からの広域連携の要望等はない

◆ 今後、近隣市町との移動ニーズに対応するため、必要に応じて、広域連携の検討を行う

- ◆ 地域懇談会を開催したことで、地域の生の声を把握するとともに、**まちづくり計画と一緒に意見を聞くことができた**ため、地域の成り立ちや地形条件などにより、移動環境が異なることが分かった。
- ◆ 地域懇談会の結果から一部の地域で、**新たな交通の導入検討などが必要**であることが確認できた。

表　計画策定に係る事業の評価

事業の種別		事業実施の結果
各種ニーズ調査	シティバスの乗降調査	• 平成31年3月11日～3月17日に乗降調査を実施（4路線）
	アンケート調査	• 平成29年10月～11月に実施 • シティバス利用者への聞き取り調査（回収数：190人） • 施設利用者調査（回収数：405人） • 郵送調査（回収数：1,197人）
	地域懇談会	• 平成30年11月～12月に実施（15中学校区2回実施：延べ212人参加）
	事業者ヒアリング	• 令和元年9月に事業者ヒアリングを実施 • 名鉄バス㈱、春日井市内タクシー組合、高蔵寺ニュータウンセンター開発㈱を対象に実施
	近隣市町ヒアリング	• 令和元年9月に　近隣市町ヒアリングを実施 （小牧市、瀬戸市、名古屋市を対象）
公共交通の課題整理		国勢調査などのデータやシティバスの乗降調査、アンケート調査や地域別懇談会に加え、事業者ヒアリング等の結果を基に、春日井市の公共交通の課題を整理した。
協議会の開催		今年度は公共交通網形成計画に係る地域公共交通会議を3回開催する予定となっている。 令和元年７月25日及び10月21日に地域公共交通会議で検討協議しており、令和2年2月にも地域公共交通会議を開催する予定である。

春日井市の都市や公共交通の現況（供給）と市民等の移動実態や公共交通の利用実態及び市民意向（需要）

春日井市の公共交通の課題

都市の現況	• 駅やバス停周辺への居住等の誘導 • 名古屋市等の周辺都市との通勤・通学の利便性の維持 • 高齢者等の市民の移動手段の確保
公共交通 民間等自主運行	• 鉄道とバスが一体となった利便性の高い公共交通の維持 • 市民ニーズや路線バスとの重複に配慮したシティバスの見直し • 市民病院や市役所、鉄道駅への移動の利便性の向上 • 多様な交通の組み合わせによる市民の移動手段の確保
交通結節点	• 円滑で安全な乗換え環境の確保 • 駅やバス停への安全な移動環境の確保
運行環境	• 利用機会の創出 • 運転手不足への対応

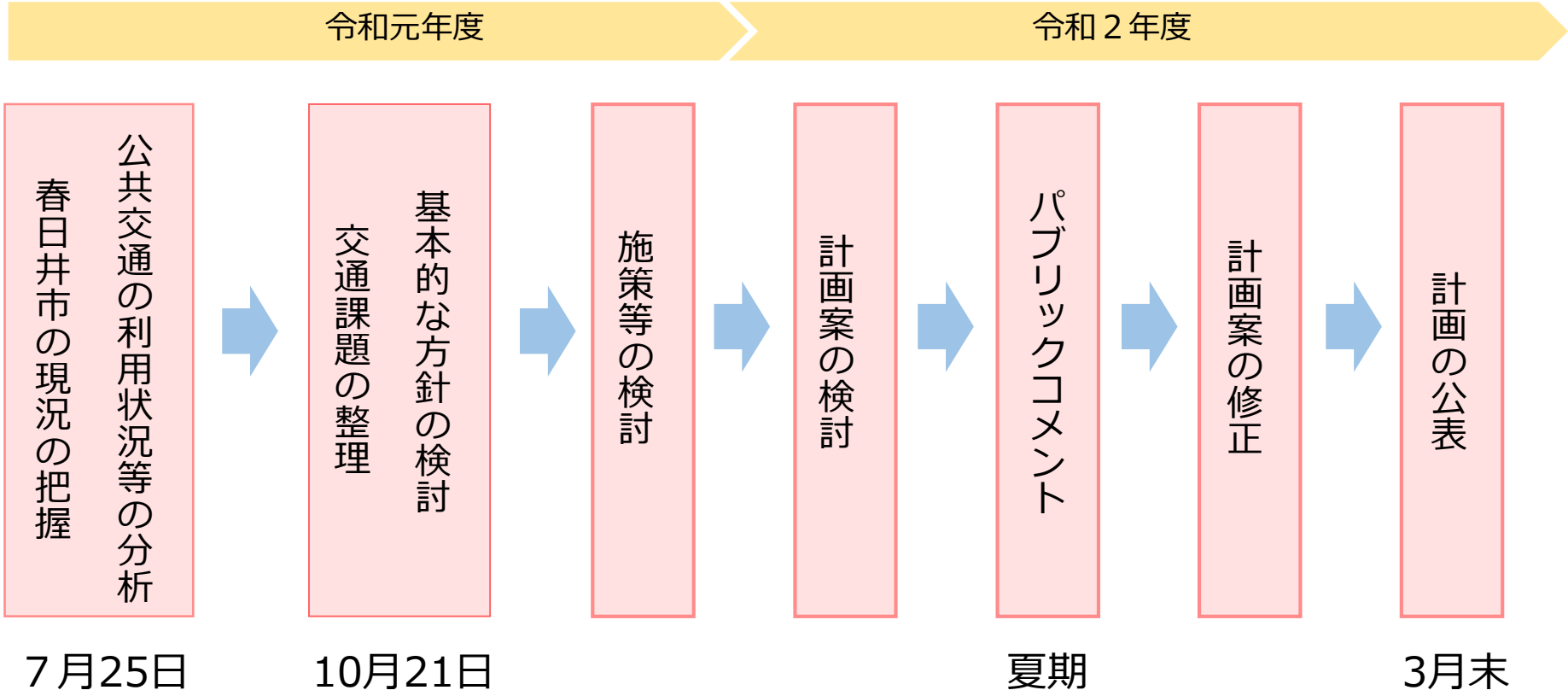
公共交通の基本的な方針（素案）

多様な需要やニーズに対応するための体系的な公共交通網の形成	【路線バス】 • 駅やバス停周辺への居住や都市機能の誘導策との連携 • 路線バスの交通サービスを維持していくための取組み	【かすがいシティバス】 • 東環状線の路線長大化を解消 • 名鉄バスとの重複路線のあり方 • 人口密度は高いが、バスでカバーできていないエリアの解消 • ニーズの高いバス停を維持 • 駅へのアクセス性向上	【タクシーその他移動手段】 • 地域特性に応じた様々な移動手法の検討 • 自動運転等の新たな移動技術による移動手法の検討 • 福祉施策による補完
誰もが公共交通で出かけたくなる交通環境づくり	• 安全な乗換え環境の整備（駅前広場の整備等） • 乗り継ぎを考慮したダイヤ等の調整、割引の継続等		
関係者が連携して公共交通を支える環境づくり	• バスの乗車機会の確保等の公共交通の利用促進 • 運転手の確保		

◆令和元年度は、春日井市地域公共交通網形成計画の策定に向けて、春日井市の公共交通の課題を整理した。また、その結果を基に、基本的な方針や施策等の検討を継続して行う予定である。

◆令和2年度は、春日井市地域公共交通網形成計画案の検討を行い、パブリックコメントを経て3月末の公表を目指す。

表　春日井市地域公共交通網形成計画の作成スケジュール（予定）



中部様式2

令和元年度　地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

春日井市地域公共交通会議

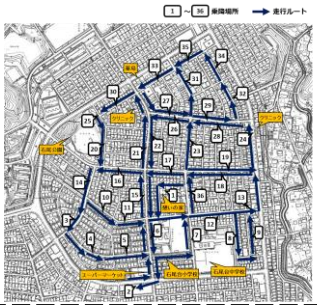
平成１９年１１月６日　春日井市地域公共交通会議　設置

調査事業（計画策定）令和３年３月春日井市地域公共交通網形成計画策定予定

直近の第三者評価委員会における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
なし		

高蔵寺ニュータウンにおける実証実験

- **ゆっくりカートによる新しい移動 サービスの実証実験**
  近距離の移動を担う新たな移動サービスを検討
- **相乗りタクシー実証実験**
  通常のタクシー運賃より約５割引きで乗車できる相乗りタクシーの実証実験を実施



都市計画マスタープランの策定と合わせた地域懇談会の開催

- 市民の皆さまからお住まいの地域の現状や将来のまちづくりについての意見を把握するために実施
- **まちづくりにあたって重要な要素の一つである公共交通についてのご意見を頂いた**

幅広い部局との連携

- 交通部局とまちづくり部局が統合されており、**交通とまちづくりを一体的に検討**することが可能
- 福祉部局や健康部局をはじめ様々な部局とも適宜打合せを行っており、幅広い部局が参画

新たな交通についての検討会

- 牛山地区において、**地元が主体となって、交通検討会**を開催している
- 他市事例等を参考に地域に合った交通を検討している

交通事業者との打合せ会議の開催等

- バス事業者やタクシー事業者と月に1回程度の頻度で実施
- 今後の事業内容の調整（実証実験など）
- 適宜連絡を取り、市民からのニーズや要望などの情報共有
- 公共交通事業者と行政の間で良好な関係を構築

近隣市町との連携等

- 近隣市町に対し、広域連携に関するヒアリングを実施
- 小牧市と適宜打合せを実施しており、広域連携の導入について検討している

（別添1）

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定に係る事業）

令和2年1月15日

協議会名：春日井市地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C評価	【事業が適切に実施された（されている）かを記載。適切に実施されなかった（されていない）場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
【公共交通の利用状況等の整理・分析】 公共交通事業者から提供いただいたデータから春日井市の公共交通の整備状況や各種公共交通の利用者数の推移などを整理した。シティバスについては、乗降調査を行い、利用者の属性や利用状況等について整理分析した。また、市内公共交通の利用実態やニーズ等を把握するために実施したアンケート調査結果や都市計画マスタープランの策定とあわせ実施した地域別懇談会の結果から公共交通に関する意見結果を整理・分析した。さらに、交通事業者に対してヒアリングを実施し、既存の統計調査からは分からない具体的な利用特性や、交通サービスを維持する上での供給者側からの問題点等を整理・分析した。	A	■事業は適切に実施されている。 〇シティバスの乗降調査結果の整理・分析 ・平成31年3月11日～3月17日に乗降調査を実施（4路線） 〇アンケート調査結果の整理・分析 ・平成29年10月～11月に実施 ・シティバス利用者への聞き取り調査（回収数：190人） ・施設利用者調査（回収数：405人） ・郵送調査（回収数：1,197人） 〇地域別懇談会結果の整理・分析 ・平成30年11月～12月に実施（15中学校区2回実施：延べ212人参加） 〇事業者ヒアリングの実施及び結果の整理・分析 ・令和元年9月に事業者ヒアリングを実施 ・名鉄バス㈱、春日井市内タクシー組合、高蔵寺ニュータウンセンター開発㈱を対象に実施 〇近隣市町ヒアリングの実施及び結果の整理・分析 ・令和元年9月に　近隣市町ヒアリングを実施 ・小牧市、瀬戸市、名古屋市を対象に実施	【補助申請を行う補助対象事業名】 地域公共交通調査事業（計画策定事業） 【事業内容】 春日井市地域公共交通網形成計画作成業務委託 【実施時期】 令和元年6月12日～令和2年3月31日
【交通課題の整理】 都市及び公共交通等の現状、市民の移動実態や春日井市地域公共交通網形成計画の策定に係る市民意向調査の結果を基に、本市の公共交通の課題を整理する。	A	■事業は適切に実施されている。 〇国勢調査などのデータやシティバスの乗降調査、アンケート調査や地域別懇談会に加え、事業者ヒアリング等の結果を基に、春日井市の公共交通の課題を整理した。	
【協議会の開催】 「春日井市地域公共交通網形成計画」の計画策定に向けて、市民ニーズの把握の結果や公共交通の課題について検討協議を行う。	A	■事業は適切に実施されている。 〇今年度は公共交通網形成計画に係る地域公共交通会議を3回開催する予定となっている。 〇令和元年7月25日及び10月21日に地域公共交通会議で検討協議しており、令和2年2月にも地域公共交通会議を開催する予定である。	

（別添1－2）

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月15日

協議会名：	春日井市地域公共交通会議

評価対象事業名：	地域公共交通調査事業（計画策定事業）

地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）	本市の公共交通の概況について、鉄道については、4路線整備され、高頻度に運行しており、多くの市民が名古屋方面等へ通勤通学で移動している。路線バスについては、名鉄路線バスが、JR鉄道駅を起点に運行しており、あおい交通や名古屋市営バスも一部鉄道駅に市外から発着している。タクシーについては、タクシー会社5社が営業している。また、かすがいシティバスについては、高齢者の昼間帯での公共施設利用と日常生活の利便性を確保することを目的に、平成14年から運行し、令和元年10月からは現在のダイヤで4路線を運行しており、利用者は毎年増加している。 しかしながら、かすがいシティバスの循環型路線の運行は、「1循環あたりの時間が長くなるため移動に長時間を有する」など利用者からの意見や、「渋滞などでダイヤが遅れたとき、運転士の休憩時間が確保できない」といった事業者からの指摘を受けている。また、高齢化の進行、運転免許証返納といった社会ニーズの変化や多様化、新たな公共施設の整備もあり、かすがいシティバス路線の再編成や地域の特性に合った新たな交通の導入なども視野にいれた、市内の公共交通のあり方や、交通事業者などの役割を整理する必要がある。 また、本市においては、今後本格的な人口の減少局面に入るとみられ、さらには高齢者人口が大きく増加することが予想されていることから、公共交通体系を考える上では、将来的な人口推計や居住誘導、公共施設の適正配置計画などを踏まえたまちづくりと連動した交通計画の策定が必要となる。本市では平成29年度に策定した、第六次総合計画と立地適正化計画、令和元年度に策定予定の都市計画マスタープランとあわせて地域公共交通網形成計画を策定し、まちづくりと連動した持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、地域公共交通網形成計画の策定が必要である。